

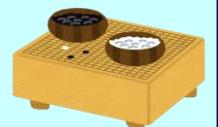
介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、介護全般の相談役であるケアマネージャー（介護支援専門員）が皆様の心配事を専門的な立場で、安心して生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は**無料**です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



12月の行事予定

◆ふる里 12月行事 『もちつき忘年会』
12月26日(月)・27日(火)・28日(水)

- ◆生け花教室 ～齊藤マサミ先生～ 23日(木)
- ◆書道教室 ～中村朱実 先生～ 8日(木)・24日(月)
- ◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 14日(土)
- ※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。
- ◆押し花教室 ～中村壽美子先生～ 20日(火)
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(7日、14日、21日予定)



～ 11月の趣味活動の作品～



書道教室



おし花教室



生け花教室

いよいよ師走になりました。今年もあとわずかとなり町も人も年末に向けて忙しくなってきました。ふる里も年末の「もちつき大会」の準備を職員がはじめました。そして11月に作っていた干し柿がとてもいい色に仕上がっており、正月のお年玉になるのでとても待ち遠しくなります。外も寒くなり師走らしい気候になりました。インフルエンザも増えてきます。皆さんも体調に気を付けて楽しいお正月を迎えましょう！

編集後記：田口 真一



柿の皮むき



天日干し中



令和4年12月5日発行

ふる里からの 「ふくろうだより」 12月号

今年の指針 “常に”



あかるく やわらかく やさしく

社会福祉法人 隆明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

HP検索 :

デイサービスセンターふる里



『八咫鳥 (ヤタガラス) ! がシンボル !!』

中村覚之助(明治 11 年~39 年)は、和歌山出身です。嘉納治五郎が校長を務めていた『東京師範学校』の卒業生で、日本にサッカーを広めた人物だそうです。明治 35 年(1902)、覚之助は東京師範 4 年生の時、フットボール部を創設。これが現在のサッカーの日本での始まりだそうです。彼亡き後、大正 10 年(1921)『大日本蹴球協会』ができて、昭和 6 年(1931 年)、日本サッカー協会(JFA)となりました。そこで協会のマークを創ろうという話になり、中村覚之助さんにちなんだものにするようになりました。中村さんが生まれたのは、那智町浜ノ宮。熊野の浜ノ宮は、日本書紀や古事記に現れる神武天皇東征の伝説で、大阪から海伝いに南下して上陸した熊野の地。そこから大和の飛鳥あたり(奈良・橿原)を目指した際に神武天皇の道案内をしたのが、三本足のカラス、八咫鳥(ヤタガラス)だったのです。熊野は、平安時代の蹴鞠(けまり)の名人と言われた藤原成通が技の奉納に訪れたとも云われています。日本サッカー協会(JFA)の旗の黄色は“公正”を、青は青春を表し、はつらつとした青春の意気に包まれた日本サッカー協会の公正の気宇を表現しています。ちなみに、『大日本蹴球協会』ができた大正 10 年は酉年です。そのことも関係しているかもしれませんね。



さて、みなさん『FIFA ワールドカップカタール大会』が 11 月 20 日から始まりました。世界から 32 チームが出場。日本は、これまでの最高がベスト 16 なので、ベスト 8 が目標ですが、日本が戦うグループは、ドイツ、スペイン、コスタリカと強豪のグループで、奇跡が起こらない限り無理だろうと思う人が多かったと思います。ただ、良い試合をしてくれたらと思っていました。先ず、ドイツ戦が最初の試合でした。優勝経験のあるチームでしたが、何と後半に逆転で勝利を手にしました。誰もが奇跡を感じたようで、私自身興奮し、日本中がお祭り騒ぎでした。第 2 戦目のコスタリカ戦は、「勝てるだろう。」と、安易に思っていたのですが、負けてしまい、崖の淵に立たされた感じでした。最終戦は、強豪スペイン。早朝に試合が始まり、私もテレビにかじりついてみていました。前半 1 点を先制され、見ていた限りでは「得点をかなり入れられるな。」と思っていました。しかし、後半開始早々、堂安(どうあん)選手、田中選手の若い選手が立て続けに 2 点を入れ逆転。その後は、スペインの攻めが強烈でしたが、2 対 1 で勝利。グループ 1 位通過でベスト 16 という快挙を成し遂げてくれました。テレビに向かって、大声で「すごい!ありがとう!」と叫びながら、一緒に見て応援していた家内と息子とハイタッチをして喜び合いました。このおたよりがお手元に届く頃には、ブラジルに勝って韓国とのアジア同士の戦いになっているかもしれません。『頑張れ♥日本♥侍ブルー♥』先日、テレビで 2050 年までに『FIFA ワールドカップサッカー大会』で優勝することを目標にしているようです。優勝することを目標達成できそうですよ。

センター長 森 隆敏

11月行事

秋の パンパンパーティー

11月行事は『秋のパンパンパーティー』を行いました。内容は、「皆で美味しいおやつ作りをしよう。」と計画しました。何年か前まで定期的に行っていましたが、久しぶりの開催となり初めて体験される方も多くいらっしゃいました。今回作ったのは「フルーツロールサンド」「パンケーキ」「ミルクレープ」の3つです。どれも珍しく初めて食べる方がほとんどだった為、皆さんとてもワクワクされながら参加されました。5つの班に分かれて果物を切ったり、生クリームを泡立てたり、粉を混ぜて生地を作って焼いたりなど、いろいろな作業を分担し協力してできました。男性の方々は初めて包丁を握る方もいらっしゃいましたが、積極的に率先して参加して下さる姿が多く見られました。女性の方々も久しぶりに料理をされる方も多くいらっしゃいましたが、慣れた手つきで手際よく作業されていました。最後は各班盛り付けをしておしゃれなティーカップとソーサーに様々な種類のフルーツティーを入れて召し上がりました。どの班もおしゃれで美味しそうなおやつが出来上がっており、皆さん話を弾ませながら、「美味しかねー」との声も聞かれ、完食されていました。とても大満足な3日間になりました。



フルーツロールサンド



パンケーキ



ミルクレープ

今回はパンづくし



おやつタイム



11月行事『パンパンパーティー』では、美味しいおやつを皆で協力して作り、最後に美味しく頂こうという目的で計画しました。そして出来上がったスイーツをまるでカフェに来ているような雰囲気味わって頂くためおしゃれな音楽も用意しました。結果は大成功で皆さんゆったりとした雰囲気の中で美味しく食べていらっしゃいました。2日目には元職員の方がお孫さんを連れて遊びに来られ、かわいい赤ちゃんに皆ほのぼのと笑顔になって喜ばれていました。行事担当 三重 亜津沙、高取 ゆみ子

11月行事食



行事食のメニュー表！

2022 11/22 **ふる里で 長崎をさるこうランチ!**

～長うどん(長崎)～
長崎市にある中華料理店「長崎屋」の代表店主「藤原」が提案。当時から長崎ではちゃんぽんの出店が盛んで、その際にスープに刻み入れたいもにとろろをつけたのが始まりとされています。

～おまそごし(長崎)～
巻成でれたいも、はくさい、かぼちゃ、こんにゃく、こんにゃくなど旬産品でできた料理を使用します。よごしの由来は、巻成する時、すて置けるのをすまじことからきたと言われています。

～ゆでひこま(大阪)～
正式にはゆでひこま(長崎)ゆでひこまは長崎県大村市の特産品です。本日は、ご一緒に一緒に焼きお楽しみください!

～おまそごし(長崎)～
「おまそごし」という呼び方は、さいもやでんらん(片栗粉)のことで「おまそごし」することからきているといわれています。

2022 11/23 **ふる里 よかばい!長崎ぶらり定食**

～くりりば(川口)～
名物の「くりりば」の「くり」は料理に「栗」を使うことからきており、「りば」は料理を盛るお皿を指していることからきています。栗にする「栗皮」です。栗皮で包んだお餅をすまじことからきたと言われています。

～長崎県内の樹木食の歴史は古く、江戸時代には、佐世保市、甲府市では「又目」が誕生し、伊木、長身ではうんしゅうみかん栽培が開始されました。

～はなはな(長崎)～
精進料理のおもてなしでしたが、今では長崎の行事としてお召し上がりしています。お子様もスタシとして使います。そのスタシが輪をターンとしくいくい味をきかせるので、「はなはな」と言われています。

～にこめん(長崎)～
長崎の手延べそうめんは、こしが強くてのびにくいのが特徴です。

～焼し(佐賀)～
佐世保では、九月九日の海で焼けた新鮮な鯛を使った料理を、新しい佐世保の伝統料理として残しています。

2022 11/24 **ふる里 美味しかわ!もってこいランチ**

～ハトシ(長崎)～
ハトシは、江戸時代から明治時代にかけて中国から貿易を通じて伝わりました。「ハトシ」は、「多士(トースト)」という意味を持っています。

～焼し(佐賀)～
長崎の上座で作られた鯛料理です。昔は肉を焼いていませんでしたが、半斤半斤の人々が焼く焼くから焼く焼くを焼くことを指して作った料理です。

～つぼ汁(長崎)～
昔ながらの精進料理として使われてきた「つぼ汁」は、料理を盛るお皿に焼いてお召し上がりすることからきています。

言方問ボランティア

今回の「おはなしの部屋」は、浜口先生、坂中先生の2人が来られました。始めに『**絵すがた女房**』を朗読。内容は**ごんべい**という男にとっても可愛らしい**おはな**という奥さんがおりました。**おはな**とずっと一緒にいたいあまりに仕事が手につかない**ごんべい**、対策として紙におはなの顔を描いて持ち歩くことにしました。効果はあり仕事が出来るようになりましたが、その絵が風に飛ばされてしまいます。その絵が巻き起こす運命とは。2作目は「**すつとんだちょうべい**」を朗読されました。内容はとある村に住んでいる老夫婦が大根を育てていました。その大根がとてつもなく大きく育ってしまい、二人では到底抜けそうにありません。そこで井戸掘りの名人である**ちょうべい**に依頼しました。**ちょうべい**は見事に大根を収穫しましたがその勢いで掘った穴におちてしまいます。そこで待ち受ける上下するものがたりとは。今回もとても面白い作品を朗読して頂きました。本当に有難うございました。12月もおはなしの部屋があります。次の作品も今からとても楽しみです。

